

鶴見区区政会議 平成 30 年度第 1 回全体会議事録（要旨）

1 日 時 平成 30 年 9 月 3 日（月） 19 時 00 分～21 時 08 分

2 場 所 鶴見区役所 4 階 403・404 会議室

3 出席者

（委員）

久木議長、前川副議長、内野委員、岡出委員、久貝委員、猿渡委員、柴田委員、高田委員、田中（潔）委員、田中（泰）委員、中田委員、西口委員、西村委員、伴委員、松原委員、山口委員、山田委員、吉江委員、米島委員、渡邊委員

（市会議員）

大橋議員、福島議員

（区役所）

河村区長、野村副区長、安部総務課長、奥本政策推進担当課長、中村教育担当課長、嶋原市民協働課長、谷上保健福祉課長、松井子育て支援・保健担当課長、貴志生活支援担当課長、浅田窓口サービス課長、阪東住民情報担当課長、尾崎市民協働課長代理

4 議 題

1 平成 29 年度鶴見区取組み実績・評価について

地域保健福祉部会

こども教育部会

防災・防犯部会

経営課題 1・6

2 その他

5 議 事

（1） 河村区長開会のあいさつ

（2） 定足数確認

- 区政会議定足数は委員定数の 2 分の 1 で、現在、26 名中 19 名の出席により定足数を満たしている。

(3) 議員紹介

(4) 第1回地域保健福祉部会での主な意見の報告

(5) 委員からの意見・要望等

- つなげ隊は鶴見区社会福祉協議会（以下「区社協」という）とは連携されてると思うが、地域に対してつなげ隊から活動報告や相談内容などの情報提供というのが、うちの地域ではないように思う。つなげ隊がこの事業を区役所から受託している区社協に報告されている具体的な相談の内容などを地域にもっと流してほしい。また他の委員の地域ではどうかお聞きしたい。
- 私の地域では、つなげ隊と地域との連携は非常に密にしているので、今のところそういう支障はないと思う。
- 私の地域では、例えば洗濯物がずっと干してあるとか、郵便ポストがたまっているという状況を地域の役員がつかんだ時は町会長と女性部長が基本的に柱となって「つなげ隊」に連絡することになっているような状況である。
- 私の地域でもそういう例はあるので、ご近所が「つなげ隊」と連絡を密にしていけば、こういうこともなくなるんじゃないかと思っている。
また、民生委員が声をかけても顔を出してくれないため困ったということもある。
- 私の地域では、ある町会で、町会の方から「つなげ隊がすべきことをやっていない、全然その連絡がとれない」との意見が出たことを受けて、地域の方とつなげ隊の方が一緒になって「その町会がどうなっているのか」、「どういう要援護者がいるか、現状はどうか」などについて情報を共有する場を設けた今日までにもう五、六回続けている。
この会議には区社協のスタッフも参加しており、地域とつなげ隊との関係もかなり良くなったと思う。
- 鶴見区のほうでは地域の福祉のコーディネーターとして「つなげ隊」というものを採用し、この活動などの事業は区社協に委託している。区社協は各地域に推薦された「つなげ隊」と契約し、地域のふれあい員や町会など地域の人とのつなぎ役として活躍していただく。そういう趣旨で「つなげ隊」がいる。
さきほど委員から意見が出たのは、このつなげ隊の動きが地域連合の中、あるいは地域活動協議会（以下「地活協」という）の中で見えにくい、どういう活動をしているか見えにくいということである。
この点について、区役所はどう考えるのか。
➤ 大変たくさんのご意見をいただいた。区は区で連携していく組織として、区社協を中心につなげ隊が地域にあり、地域の皆さんのいろんな相

談の窓口となる姿が理想ではあるが、やはり地域それぞれに事情があり、機能しているとお考えの地域がある一方で課題があるとお考えの地域もある。

このようないろいろなご意見も入れまして、私どもが理想とする状態に近づくよう努力したい。また今後とも、こういった場も含めご意見をいただき、参考としたい。

- そもそも地活協は地域の福祉がほぼ大半の仕事であり、その地域福祉活動を地活協がやはり今後担っていかなければいけないというのは、もう当たり前のことである。今のように間に区社協が入るなどすると、区や社協と地域がそういう意識の下でも課題共有ができなくなると思うので、「地域福祉活動は地活協が担う」という方向で検討してほしい。
- 私は地域団体の活動に縁のない一区民ですが、「つなげ隊」とか、「あいまち」とか、名前だけは聞き覚えがあるが、実際に誰がいるのかわからない。「町会の役員の方がだれかわからない」ので近所の方に聞いてもご存じないこともあった。こんな現状がある。
- 情報発信について意見があったので、地域でも情報の発信をよろしく願いたい。
- 各地活協はいろんな課題を持って動いていると思う。そうした課題、特に高齢者、福祉対策事業で区にどれだけ反映されているのか。区社協に事業委託しているが、区は区社協と情報を共有できているのか疑問だ。地域で起きている課題、また事業を行う区社協が抱える課題などは区に反映されているのか
 - つなげ隊の分も含め、区社協とは定例の会議や個別ケースでの対応で綿密に情報連携をとっている。その中で地域ごとにそれぞれの課題があると報告も受けている。
区が得た各地域の課題などの情報については、カルテのようなものにまとめ、地域でも活用いただけるものとなるよう作成に取り組んでいる。
- そのカルテはいつぐらいにでき上がるのか。
 - おおむね今年度中でまとめたいと考えている。

(6) 第1回こども教育部会での主な意見の報告

(7) 委員からの意見・要望等

- 区広報紙で区内の市立小中学校のボランティアサポーターの募集やファミリーサポートセンター事業の応援の募集が掲載されていたが、応募に効果はあったのか。また、現在大阪市教育委員会が実施している元気アップ事業につい

て広報することはできないか。

➤ 区広報紙に掲載したことにより、応募は増えている。区の広報については、広報サポーター制度をつくるなど、広報の充実に努めている。

元気アップ事業については、既に区広報紙に掲載しているが、今後の掲載についても教育委員会及び各学校と調整し、進めていく。

- 児童虐待防止啓発活動、児童虐待防止のための学習会、講演会等に取り組んでいるが受講しない人を掘り起こす必要があるとの意見に対して、関係機関と連携してきめ細かい周知に努めると区の対応方針が示されている。しかし、平成30年度の実践の中で児童虐待がないのはなぜなのか。

また、児童虐待についての課題はステップファミリーであるというデータ結果が出ている。ぜひ具体的なターゲットに対して取り組んでいただきたい。

➤ 児童虐待防止啓発活動、児童虐待防止は、当然に実施していくべき事業なので、取組みには記載していないが、地道に実施していく。

- 関係機関や地域と連携し、きめ細かい周知に努めるということは具体的には難しいと思う。20年前の出産後に保健師が訪問してくれて相談に乗ってもらえたことは非常に安心感を覚えた。

子育てサロンなどに行かない、行くことができない保護者への支援として、年に1回でも何かの形で訪問する等できないか。

➤ 地区担当の保健師が出生時に1回訪問している。その後は3か月健診、1歳半健診、3歳健診時に悩み等の相談を受けている。健診に来ない場合は状況調査も行っている。3歳までは切れ目のないアシストが出来ているが、3歳から小学校入学までが空くということで課題であると考えている。

- 鶴見区内、鶴見区外の保育園や幼稚園とは連携しているのか。また、地域ももっと連携できるのではないか。

➤ 保育園や幼稚園とは連携している。また、地域には民生委員や主任児童委員などがおられるので、連携方法等も含めて検討していきたい。

(8) 第1回防災・防犯部会での主な意見の報告

(9) 委員からの意見・要望等

- 避難所開設運営訓練を12地域で実施するとあるが、各町会でも防災訓練を行っており、町会でも役付けをしている。連合で実施をされた場合、連合で役付けもされ、実際災害が発生した時、町会は手薄になってしまう恐れがある。

➤ 地域で実施予定の避難所開設運営訓練では、各町会長は町会での要望や

安否確認を行っていただくという役割分担としている。

また、今回実施する避難所開設運営訓練は地活協を組織する各種団体の代表等の方に運営委員会や地域本部の役員を担っていただく方向で考えている。

- 震災や災害時は水が一番大変なので、井戸を学校や公園等地域に1つ掘ることを提案する。
- 地域で防災無線のスピーカー音が聞こえにくいという相談を受けたが、誰に言っていけばいいのか窓口が分からなかった。また、災害時に状況を確認できるホームページなどのアクセス先を教えてください。
 - 防災無線のスピーカーが聞こえにくいとの連絡は区役所の防災担当へ申し出てほしい。また災害状況等の確認は大阪市危機管理室のホームページにアクセスしていただければ確認できる。鶴見区のホームページからでもリンクしている。
- 広報について、フェイスブックやホームページに頼りすぎているように感じる。町会回覧など文字での広報についても充実してほしい。
また、民間の新聞社等との連携はできないか。
 - 広報担当として、広報紙は大きな柱として皆様に必要な情報をわかりやすく工夫し情報発信を行っている、また、フェイスブックやツイッターなどの媒体も活用しながら区政情報の発信を行っている。
民間の新聞社等との連携については、現在もプレス発表などで情報提供をしているが、今後も区政情報の提供等を行い連携していきたい。

(10) 平成29年度鶴見区取組み実績・評価について 経営課題1・6の説明

(11) 委員からの意見・要望等

- 種花活動のボランティアに対してお茶等の支給はないのか。
 - 種花活動としての消耗品などを区として予算確保し執行しているが、お茶等はボランティア活動のなかで、ご自身でお願いしている。

(12) 大橋市会議員助言
福島市会議員助言

(19) 河村区長閉会のあいさつ

(20) 事務連絡

- 鶴見区区政会議委員評価シート及び区政会議に関するアンケートの依頼

➤ 区政会議第2回各部会を10月上旬に開催